

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	藤田 太郎

開催日時	令和7年 5月29日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 大会議室
出席者(委員)	植田紀美子 委員、澁谷栄作 委員、権藤幹晶 委員、前田浩 委員、 楫希代見 委員、山崎明美 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、進路指導部主任、教務部主任 生活指導部主任、情報コミュニケーション科長、本2学年主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 開会挨拶	2 委員紹介 3 協議 4 保護者からの意見書について
5 閉会挨拶	6 その他【事務局】
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
各委員からのご意見	
3 協議	
1)万博STEAM教育プログラムについて【本2学年主任】	
<ul style="list-style-type: none"> ・最初にワークショップの概要を伝えてから、説明に入るとより理解が深まる。 ・外国の方とのコミュニケーションでは、ジェスチャーや表情がとても役に立つ。 ・このワークショップを通じて、多くの国の方とコミュニケーションが取れることを期待する。 	
2)高等学校等デジタル人材育成支援事業について【情報コミュニケーション科長】	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報やAIの分野が、ここまで進んでいて、プログラミング等でも活用できるとは驚いた。 ・生成AIを使うにあたり、必ずしも正しい結果が出ないことなど、事前学習をした上で取り組んでいただきたい。 ・機械に合わせたプロンプトを書くなどのコツはあるが、今の時節にかなった非常に良い取り組みなので、ぜひ進めていってほしい。 ・取り組みの進捗やMiroの活用例を、次回の協議会で報告してほしい。 ・オンラインの交流は、嫌になれば遮断すればいいが、本当はもう一度話し合えば分かり合えることもある。生の交流を通じてでしか、得られないものもあるので、もし機会があれば、青森聾学校とも直接交流をしてほしい。 	
3)学校経営計画について【校長】	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の育成は非常に重要。メールなどだけのコミュニケーションが増えているが、直接会って表情やリアクションも含めたやり取りをすることも大切なので、ぜひとも力を入れて取り組んでいただきたい。 ・自分のことを正しく相手に伝える力、病院で自分の症状を正しく説明できる力を育成してほしい。 ・SNSでもあるように、短い文に意図をまとめることも大切だが、短い文から相手の意図を読み取ることも大切。コミュニケーション能力向上のために、意識してほしい。 ・めざす学校像が良い。フレーズを読んでいて非常にクリアに伝わってくる。 ・音声でコミュニケーションできないという制限を、デジタル補っていきえるような、社会で働くうえで求められる力を育成してほしい。 	
4 保護者からの意見書について【事務局】	
<ul style="list-style-type: none"> ・意見書の提出はなし 	

次回の会議日程	
日時	令和7年11月6日(木)10:00～
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 大会議室